

津

端

亨

編纂

現代短歌分類辭典

新裝判
5卷

現代短歌分類辭典

新裝判
5 卷

津
端
亨
編
纂

江苏工业学院图书馆
藏书章

現代短歌分類辞典

新装版 5 卷

通卷 1 6 3

昭和六十二年九月廿六日発行

定価一四、〇〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端 亨

発行所

現代短歌分類辞典刊行所

代表 津 端 亨

〒345

埼玉県北葛飾郡杉戸町宮前一九六一五

電話（〇四八〇）三八一〇〇四〇番

振替 東京三一九三二一四

目次

	歌数	頁数		歌数	頁数		歌数	頁数		歌数	頁数
くこ〔枸杞〕	一三	一	くだりきーて	四二	三	くだりをり	四	七	くちき〔朽木〕	七	一六
くさいちこ〔草薺〕	一	一	くだりきーにけり〔下り来にけり〕	四	四	くだる〔下る〕終止形	六九	七	くちぎたなき〔口汚なき〕	一	一六
くさぎ〔臭木〕	七	一	くだりきーぬ〔くだり来ぬ〕	三	四	くだる〔下る〕連体形	二二	八	くちぎばし〔朽木橋〕	二	一六
くさぎり〔臭桐〕	一	一	くだりきーまさーむ〔降り来まさむ〕	一	四	くだる〔下る〕	三	二〇	くちくかん〔駆逐艦〕	四	一六
くさびえ〔草稗〕	一	一	くだりく〔くだり来〕	三	四	くだるーと〔下ると〕	七	二〇	くちくする〔駆逐する〕	一	一六
くさふじ〔草藤〕	二	一	くだりくる〔下り来る〕	二六	四	くだるーなり〔下るなり〕	七	二〇	くちぐせ〔口癖〕	七	一六
くさぼけ〔草ぼけ〕	三	一	くだりけり	二	四	くだるーなりけり〔下るなりけり〕	二	二〇	くちくせーむ〔駆逐せむ〕	一	一六
くさめ〔草の芽〕	五	一	くだりこし〔下り来し〕	六	五	くだるーに〔下るに〕	三	二〇	くちぐち〔口々〕	四	一六
くじやくしだ	一	一	くだりさか〔下り坂〕	二	五	くだるは〔下るは〕	三	二〇	くぢけ〔摧け〕	一	一六
くじやくそう〔孔雀草〕	三	一	くだりさかち〔下り坂路〕	一	五	くだるは〔下るは〕	一	二〇	くちーけむ〔朽ちけむ〕	一	一六
くす〔樟〕	四	一	くだりさへづり〔降り囀り〕	一	五	くだるーべく	一	二〇	くちけーめーや〔挫けめや〕	一	一六
くすのき〔楠・樟の樹〕	二	一	くだりし	三	五	くだるーべし	一	二〇	くちこたへ〔口答〕	一	一六
くず〔葛〕	二	一	くだりきーて	一	五	くだるーも〔下るも〕	四	二〇	くちこたへ〔口答〕	一	一六
くだものや〔果物屋〕	三	二	くだりこし〔下り来し〕	一	五	くだるーらし〔下るらし〕	七	二〇	くちこもり〔口こもり〕	二	一六
くだや〔管矢〕	一	二	くだりそむ	二	五	くだれ	一	二〇	くちこもる〔口こもる〕	一	一七
くだら〔百済〕	一	二	くだりーたり	二	五	くだれど	一	二〇	くちさがなき	一	一七
くだらくにはら〔百済国原〕	一	二	くだりーたる	六	五	くだれーば〔下れど〕	一	二〇	くちさき〔口先〕	一	一七
くだらくわんおん〔百済観音〕	五	二	くだりーつ	二	五	くだれーり〔下れり〕	八	二〇	くちさみしく〔口さみしく〕	一	一七
くだらーしめ	一	二	くだりーつつ〔下りつつ〕	一六	五	くだれる〔下れる〕	四	二一	くちーし〔朽ちし〕	一	一七
くだらーす	一	二	くだりーて	四〇	五	くだんさか〔九段坂〕	二	二一	くちーしめ〔朽ちしめ〕	一	一七
くだらーず	四	二	くだりと	二	六	くだんさか〔九段坂〕	二	二一	くちじり〔口尻〕	二	一七
くだらの〔くだら野〕	一	二	くだりーながら	一	六	くだんとう〔九段灯〕	一	二一	くちすぎ〔糊口〕	一	一七
くだらぼとけ〔百済仏〕	三	二	くだりーぬ	八	六	くち〔口〕	二八八	二一	くちずさみーつつ〔口ずさみつつ〕	四	一七
くだらーむ	六	二	くだりーませ	一	六	くち〔職〕	一	二一	くちずさみあーたる	一	一七
くだらーむーと	四	二	くだりゆかーむ	二	六	くち〔朽ち〕	二	二一	くちずさみをり	一	一七
くだらーん	二	二	くだりゆき	五	六	くち〔簾〕	一	二一	くちずさむ	一	一七
くだり〔下り〕	二〇	二	くだりゆきーける	一	六	くち〔愚痴〕	二	二一	くちせーず〔朽ちせず〕	一	一七
くだり〔下り〕連用形	一九	三	くだりゆきーたり	二	六	クーチー	一	二一	くちせーし	一	一七
くだりえーず〔下り得ず〕	一	三	くだりゆきーたる	一	六	くちあたり	一	二一	くちそそぐ〔嗽ぐ〕	一	一七
くだりおくれーし	一	三	くだりゆく〔下りゆく〕	三	六	くちいろ〔朽ち色〕	一	二一	くちそめーぬ〔朽ちそめぬ〕	一	一七
くだりーき〔下りき〕	二	三	くだりゆくーべく	一	七	くぢう〔久住〕	一	二一	くちーたり〔朽ちたり〕	二	一七
くだりきーし〔くだり来し〕	二	三	くだりゆくーべし	一	七	くちえん〔朽縁〕	一	二一	くちーたり〔朽ちたり〕	一	一七
くだりきたりーて〔下り来りて〕	四	三	くだりゐーて	一	七	くちおも〔口重〕	一	二一	くちたりーにけり〔朽ちたりにけり〕	一	一七
くだりきたりーぬ〔下り来りぬ〕	一	三	くだりゐる	二	七	くちかけ〔口欠〕	一	二一	くちーたる〔朽ちたる〕	一	一七
くだりきつ〔下り来つ〕	二	三			七	くちかぞ〔口数〕	八	二一	くちづけ〔唇づけ〕	一	一七
					七	くちかづ〔口数〕	一	二一	くちづけさーるる	一	一八

くちづけし	三	八	くちびる〔唇〕	二	六	くつがへしーたり	二	六	くつずみ〔靴墨〕	三
くちづけする	一	八	くちぶえ〔口笛〕	三	三	くつがへしーたる	一	六	くつすり	四
くちづけて〔口づけて〕	一	八	くちぶね〔朽ち舟〕	一	三	くつがへす	一	六	くつせつき〔掘削機〕	一
くちづけーにーけり	一	八	くちべ〔口辺〕	一	三	くつがへせし	一	六	くつせつ〔屈折〕	一
くちづけのめーり	一	八	くちべに〔口紅〕	二	三	くつがへらーしむ	一	六	くつぞこ〔靴底〕	一
くちづけーむ〔口づけむ〕	一	八	くちべにがひ〔口紅貝〕	一	三	くつがへり	二	六	くつた〔食った〕	九
くちづけーられーし	一	八	くちべにすゐせん〔口紅水仙〕	二	三	くつがへりーたる	一	六	くつた〔屈託〕	一
くちづけーん	一	八	ぐちめく〔愚痴めく〕	一	三	くつがへりーつつ	一	六	くつた〔食つた〕	五
くちづさみーつつ	一	八	ぐちもうまい〔愚痴蒙昧〕	一	三	くつがへる	一	六	くつた〔靴襪〕	二
くちーつつ	一	八	ぐちもと〔口元〕	一	三	くつきよく〔屈曲〕	一	六	ぐつたりと	二
ぐちつぽく〔愚痴つぽく〕	一	八	ぐちーもーはてーなーむ	一	三	くつきりと	一	六	くつたりむら〔屈足村〕	一
ぐちーて〔朽ちて〕	一	八	ぐちや〔朽屋〕	一	三	ぐつぐつと	一	六	くつて〔食つて〕	三
ぐちとく〔口疾く〕	一	八	ぐちやう〔区長〕	一	三	くつげん〔屈原〕	一	六	くつて〔食つて〕	一
ぐちとに〔口疾に〕	一	八	ぐちやくちや	一	三	くつごめ〔屑米〕	一	六	くつてつ〔屑鉄〕	一
くちなぐさめ	一	八	ぐちゆかーむ〔朽ち行かむ〕	一	三	くつきき〔靴先〕	一	六	くつと	一
くちなし〔梔子〕	一〇九	八	ぐちゆく〔朽ちゆく〕	六	三	くつきーず	一	六	ぐつと	一
くちなしいろ〔梔子色〕	二	八	ぐちよく〔愚直〕	二	三	くつきーぬ	一	六	くつぬぎ〔沓脱ぎ〕	一
くちなしびと〔口なし人〕	二	八	ぐぢら〔鯨〕	九	三	くつきーれーし	一	六	くつは〔葛葉〕	一
くちなは〔蛇〕	六	八	ぐちりみる〔愚痴りみる〕	一	三	くつきーれーて	一	六	くつばこ〔屑箱〕	一
くちなは〔口縄〕	一	八	ぐちわる〔口悪〕	一	三	くつし	一	六	くつばな〔葛花〕	一
くちなはいちこ	四	八	ぐちーをーきく〔口を利く〕	一	三	くつしーでーて	一	六	くつはむし〔轡虫〕	一
くちなはーのーきみ〔くちなはの君〕	一	八	ぐちおし〔口惜し〕	二	三	くつしーけり	一	六	くつはら〔葛原〕	一
くちーなーむ〔朽ちなむ〕	一	八	ぐちをしき〔口惜しき〕	四	三	くつしーし〔崩しし〕	一	六	くつはら〔葛原〕	一
くちーにーけり〔朽ちにけり〕	一	八	ぐちをしき〔口惜しく〕	一	三	くつした〔靴下〕	一	六	くずはらくん〔葛原君〕	一
くちーぬ〔朽ちぬ〕	三	八	ぐちをしき〔口惜しき〕	一	三	くつしーたる	一	六	くつひも〔靴紐〕	一
くちのこる〔朽ちのこる〕	一	八	ぐちをしみ〔口惜しみ〕	一	三	くつしつくしーて	一	六	くつふち〔葛藤〕	一
くちのと〔口能登〕	一	八	ぐちーん〔朽ちん〕	一	三	くつしーつつ	一	六	くつぼるる	一
くちのみ〔口飲み〕	一	八	くつ〔靴、沓、鞆、履〕	一	三	くつしーつつ	一	六	くつぼれーし	一
くちは〔朽葉〕	二〇	八	くつ〔屑〕	一	三	くつしーて	一	六	くつぼれーて	一
くちはし〔嘴〕	二〇	八	くつ〔葛〕	一	三	くつしやろこはん〔屈斜路湖畔〕	一	六	くつみかき〔靴磨き〕	一
くちばしり〔口走り〕	一	八	くつあと〔靴跡〕	一	三	くつしならしーて	一	六	くつみかん〔屑蜜柑〕	一
くちばしる〔口ばしる〕	一	八	くづいれ〔屑入〕	一	三	くづしーぬ	一	六	くつむら〔葛群〕	一
くちはた	二	八	くつう〔苦痛〕	一	三	くつしやろーのーうみ〔屈斜路の湖〕	一	六	くつや〔靴屋〕	一
くちばつち〔朽葉土〕	二	八	くづうた〔屑歌〕	一	三	くつじよく〔屈辱〕	一	六	くつや〔屑屋〕	一
くちはてーし〔朽ち果てし〕	三	八	くつうら〔靴裏〕	一	三	くつじやろーのーうみ〔屈斜路の湖〕	一	六	くつりゅうがは〔九頭竜川〕	一
くちはてーなーまし〔朽ちはてなまし〕	一	八	くつおと〔靴音〕	一	三	くつしーたる〔屈したる〕	一	六	くつる〔崩る〕終止形	一
くちはやに〔口早に〕	一	八	くつおほね〔屑大根〕	一	三	くつしーたる〔屈したる〕	一	六	くつるーらむ〔崩るらむ〕	一
くちはやまぶき〔朽葉山吹〕	一	八	くつかけしゆく〔沓掛宿〕	一	三	くつす〔崩す〕	一	六	くつる〔崩るる〕連体形	一
くちび〔口火〕	一	八	くづかご〔屑かご〕	一	三	くつする〔屈する〕	一	六	くつるるーごとき〔崩るる如き〕	一
くちひげ〔口髯〕	三	八	くつかつ〔屈竭〕	一	三	くづせーり	一	六	くつるるーごとし〔崩るる如し〕	一

目次

くづるゝと〔崩ると〕	二	三	くづれーつ〔崩れつ〕	一	三四	くつろげーるーらし〔寛げるらし〕	一	三七	くにとから	一
くづるゝまで〔崩るるまで〕	一	三	くづれーつつ〔崩れつつ〕	七	三四	くつわむし〔轡虫〕	二〇	三七	くにとみ〔国民〕	一
くづるゝも〔崩るるも〕	一	三	くづれて〔崩れて〕	三	三三	くづをる〔崩折る〕	一	三七	くにとちから〔国力〕	六
くづるれ〔崩るれ〕已然形	一	三	くづれと〔崩跡〕	一	三五	くづをるる〔崩折るる〕	二	三七	くにつくり〔国作り〕	一
くづるれーば〔崩るれば〕	一	三	くづれーにーし〔崩れにし〕	一	三五	くづをれ〔崩折れ〕	二	三七	くにつこいはみ〔国造磐井〕	一
くづるれーや〔崩るれや〕	一	三	くづれーぬ〔崩れぬ〕完了	五	三五	くづをれーがたき〔崩折れがたき〕	一	三七	くにつたから〔国つ宝〕	一
くづれ〔崩れ〕	一六	三	くづれーねーば〔崩れねば〕	二	三五	くづをれーし〔崩折れし〕	一	三七	くにつたみ〔国つ民〕	二
くづれ〔崩れ〕連用形	一五	三	くづれはつ〔崩れ果つ〕	一	三五	くづをれーて〔崩折れて〕	五	三七	くにつち〔国土〕	一三
くづれいでくる	一	三	くづれふし〔崩れ伏し〕	一	三五	くづをれーにーけり〔崩折れにけり〕	一	三七	くにつはて〔国つ涯〕	一
くづれおち〔崩れ落ち〕	一	三	くづれーむ〔崩れむ〕	九	三五	くづをれーにーけり〔崩折れにけり〕	一	三七	くにつはな〔国つ花〕	一
くづれおちーたる〔崩れ落ちたる〕	一	三	くづれやすき〔崩れ易き〕	一	三五	くづをれはてーて〔崩折れ果てて〕	一	三七	くにつびと〔国つ人〕	一
くづれおちーつつ〔崩れ落ちつつ〕	一	三	くづれゆき〔崩れゆき〕	二	三五	くづをれーん〔崩折れん〕	一	三七	くにつびと〔国つ人〕	一
くづれおちーて〔崩れ落ちて〕	二	三	くづれゆきーつつ〔崩れゆきつつ〕	一	三五	くーと〔来と〕	一	三七	くにつふみ〔国つ書〕	一
くづれおちーむ〔崩れ落ちむ〕	一	三	くづれゆきーて〔崩れゆきて〕	一	三五	くど〔黨〕	二	三七	くにつべ〔国つべ〕	一
くづれおちーべく〔崩れ落つべく〕	一	三	くづれゆく〔崩れゆく〕	一四	三五	くど〔九度〕	一	三七	くにつみやこ〔国つみやこ〕	一
くづれかかりーし〔崩れかかりし〕	一	三	くづれゆくーなる〔崩れゆくなる〕	一	三六	くどう〔苦闘〕	一	三七	くにつむらさと〔国つ村里〕	一
くづれかかる〔崩れかかる〕	一	三	くづれーゆらめく〔崩れゆらめく〕	一	三六	くどうぶたい〔工藤部隊〕	一	三七	くにつもの〔国つ者〕	一
くづれかべ〔崩壁〕	一	三	くづれよ〔崩れよ〕	一	三六	くどく〔功德〕	二	三七	くにとも〔国ども〕	一
くづれきたりーて〔崩れ来たりて〕	一	三	くづれる〔崩れる〕	一	三六	くどくどと	一	三七	くになか〔国中〕	二
くづれきーぬ〔崩れ来ぬ〕	二	三	くづれるーや〔崩れるや〕	一	三六	くどさん〔九度山〕	二	三七	くになかば〔国半ば〕	一
くづれくる〔崩れ来る〕	二	三	くづれみーつ〔崩れみつ〕	一	三六	くどやま〔龜山〕	一	三七	くになまり〔国訛り〕	三
くづれーけり〔崩れけり〕	五	三	くづれみーて〔崩れみて〕	一	三六	ぐどん〔愚鈍〕	一	三七	くにななり〔国訛り〕	一
くづれこーし〔崩れ来し〕	一	三	くづれーんーと〔崩れんと〕	三	三六	くなさか〔国境〕	三	三七	くにぬち〔国ぬち〕	一
くづれーさうな〔崩れさうな〕	一	三	くづろいーで	一	三六	くなう〔苦惱〕	一	三七	くにのめち〔国めち〕	一
くづれさき〔崩れ咲き〕	一	三	くづろかに	一	三六	くななり	一	三七	くにのかみ〔国の守〕	一
くづれさる〔崩れ去る〕	一	三	くづろがーむーと	一	三六	くなと〔国外〕	一	三七	くにのばな〔国花〕	一
くづれーし〔崩れし〕	一五	三	くづろぎ〔寛ぎ〕	一	三六	くなとーのかみ〔久那斗の神〕	二	三七	くにばな〔国花〕	一
くづれーず〔崩れず〕	六	三	くづろぎ〔寛衣〕	五	三六	くなん〔苦難〕	一三	三七	くににはら〔国原〕	一
くづれーた〔崩れた〕	一	三	くづろぎ〔寛ぎ〕	一	三六	くに〔国〕	五五四	三七	くにびき〔国引〕	一
くづれそめ〔崩れそめ〕	一	三	くづろぎーがたし〔寛ぎがたし〕	一	三六	くにがた〔国形〕	一	三七	くにびきしーたる〔国引したる〕	一
くづれそめーし〔崩れそめし〕	一	三	くづろぎころ〔寛ぎ心〕	三	三六	くにがみ〔国頭〕	一	三七	くにびと〔国人〕	一三
くづれそめーたり〔崩れそたり〕	二	三	くづろぎたまふ〔寛ぎ給ふ〕	一	三六	くにがみでら〔国上寺〕	一	三七	くにぶみ〔国典〕	一
くづれそめーたる〔崩れそたる〕	一	三	くづろぎーて〔寛ぎて〕	九	三六	くにがら〔国柄〕	三	三七	くにぶり〔国振り〕	四
くづれたち〔崩れたち〕	一	三	くづろぎーにーけり〔寛ぎにけり〕	一	三六	くにきよめ〔国土清〕	一	三七	くにべ〔国辺〕	三
くづれたちーたる〔崩れたちたる〕	一	三	くづろぎーぬ〔寛ぎぬ〕	一	三六	くにぐに〔国々〕	八	三七	くにみ〔国見〕	七
くづれたつ〔崩れたつ〕	一	三	くづろぎぬーまさーむ〔寛ぎぬまさむ〕	一	三六	くにざかひ〔国々〕	九	三七	くにみがをか〔国見ヶ丘〕	三
くづれーたり〔崩れたり〕	六	三	くづろぎぬーたりーけり〔寛ぎぬたりけり〕	一	三六	くにざかひする〔国境する〕	一	三七	くにみす〔国見す〕	二
くづれーたりーけり〔崩れたりけり〕	一	三	くづろぎーをーをらーむ〔寛ぎををらむ〕	一	三六	くにざかひする〔国境する〕	一	三七	くにみーのーやま〔国見の山〕	一
くづれーたる〔崩れたる〕	一五	三	くづろぐ〔寛ぐ〕	二	三六	くにさき〔国崎〕	一	三七	くにづくり〔国造り〕	一
くづれーたるーらし〔崩れたるらし〕	一	三	くづろげーば〔寛げば〕	四	三七	くにしぬびする	一	三七	くにづくり〔国造り〕	一
			くづろげーる〔寛げる〕	三	三七	くにじり〔国尻〕	一	三七	くにめぐり〔国巡り〕	一
					三七	くにた〔国太〕	一	三七	くにも〔国面〕	一

くにもと〔国許〕	一	吾	くはがた〔鉄形〕	一	吾	くはやま〔桑山〕	一	五
くにやま〔国山〕	二	吾	くはかぶれ〔桑かぶれ〕	二	吾	くははらふきのすけ〔久原房之助〕	一	五
クニヤン〔姑娘〕	二	吾	くはこら〔桑子ら〕	一	吾	くばられ〔配られ〕	二	五
くにん〔公人〕	一	吾	くはざりしなり〔食はざりしなり〕	二	吾	くばられ一つ〔配られ一つ〕	一	五
くにん〔九人〕	二	吾	くはし〔美し〕	八	吾	くばられ一つ〔配られて〕	一	五
くぬが〔陸〕	二	吾	くはし〔詳し〕	一	吾	くばり〔配り〕	一	五
くぬが〔櫟・櫟・櫟〕	三	吾	くはしき	一	吾	くばりきいて〔配りきて〕	一	五
くぬぎがをか〔櫟が岡〕	一	吾	くはしく	一	吾	くばりきいてける〔配り来にける〕	一	五
くぬぎは〔櫟葉〕	五	吾	くはしくて〔詳しくて〕	一	吾	くばり一つ〔配り一つ〕	二	五
くぬぎはやし〔櫟林〕	二	吾	くはしけれ〔詳しけれ〕	一	吾	くばりて〔配りて〕	一	五
くぬぎはら〔櫟原〕	六	吾	くはしき〔詳さ〕	一	吾	くばりやる〔配りやる〕	一	五
くぬぎふ〔櫟生〕	五	吾	くはしく	一	吾	くばりやれ〔配りやれ〕	一	五
くぬぎもみぢ〔櫟黄葉〕	一	吾	くはしきくら〔くはし桜〕	一	吾	くばりゆく〔配りゆく〕	一	五
くぬぎもみぢは〔櫟黄葉々〕	一	吾	くはしし〔くはしし〕	一	吾	くばる〔配る〕	一	五
くぬぎやま〔櫟山〕	二	吾	くはしほ〔細し穂〕	一	吾	くばるな〔配るな〕	一	五
くぬぎわかえ〔櫟若枝〕	一	吾	くはしほこちたち一のくに〔細支千足の国〕	一	吾	くはるる〔食はるる〕	一	五
くぬぎわかば〔櫟若葉〕	一	吾	くはしむ〔食はしむ〕	二	吾	くはれし〔食はれし〕	一	五
くぬち〔国内〕	一	吾	くはしめ〔美女〕	一	吾	くはれし〔食はれて〕	一	五
くぬち〔国地〕	一	吾	くはしめぬ〔食はしめぬ〕	一	吾	くはれしぬ〔食はれぬ〕	一	五
くぬくね	一	吾	くはしめぬのかみ〔麗女の神〕	一	吾	くばれり〔配れり〕	一	五
くぬくねと	二	吾	くはしをとめ〔細し少女〕	二	吾	くはれん〔食はれん〕	一	五
くぬくりて	一	吾	くはす〔食はす〕	五	吾	くはわかば〔桑若葉〕	一	五
くねつ〔苦熱〕	一	吾	くはず〔食はず〕	六	吾	くばんホーム〔九番ホーム〕	一	五
くねらせうて	五	吾	くはずのいも〔食はずの芋〕	一	吾	くひ〔杭〕	二	五
くねらせる	一	吾	くはする〔食はする〕	一	吾	くひ〔食ひ〕	三	五
くねり	一	吾	くはせ〔食はせ〕	一	吾	くひ〔首〕	一	五
くねりこぶ〔くねり瘤〕	一	吾	くはせし〔食はせし〕	一	吾	くひあかぬ〔食ひ倦かぬ〕	一	五
くねりて	一	吾	くはせたまはむ〔食はせたまはむ〕	一	吾	くひあきし〔食ひ倦きし〕	一	五
くねる	二	吾	くはせて〔食はせて〕	一	吾	くひあはせ〔喰ひ合わせ〕	一	五
くねれり	二	吾	くはせます〔食はせます〕	一	吾	くひあさるる〔食ひ荒らさるる〕	一	五
くねん〔九年〕	二	吾	くはだ〔木肌〕	一	吾	くひあらしたる〔食ひ荒らしたる〕	二	五
くねんぼ〔九年母〕	一	吾	くはたけ〔桑茸〕	一	吾	くひあらず〔食ひ荒らす〕	二	五
くのう〔苦惱〕	六	吾	くはだつる〔企つる〕	一	吾	くひそぐ〔食ひ急ぐ〕	一	五
くのう〔久能〕	二	吾	くはだて〔企て〕	四	吾	くひひぢ〔食ひ意地〕	一	五
くのうさん〔久能山〕	一	吾	くはだてし〔企てし〕	一	吾	くひひつて〔食ひいつて〕	一	五
くのへ〔九戸〕	一	吾	くはづけ〔給桑〕	一	吾	くひひりし〔喰入りし〕	一	五
くは〔桑〕	三	吾	くはつみ〔桑摘み〕	一	吾	くひひりて〔喰入りて〕	一	五
くは〔鉄〕	三	吾	くはで〔食はで〕	一	吾	くひいりて〔喰ひいりにけむ〕	一	五
くは〔九羽〕	一	吾	くはな〔食はな〕	一	吾	くひいりてける〔喰ひいりにけむ〕	一	五
くはう〔食はう〕&	一	吾	くはなのまち〔桑名の町〕	一	吾	くひいる〔食ひ入る〕	一	五

目次

くひいるーごとく〔喰ひ入る如く〕	一	三	くひーたり〔食ひたり〕	八	四	くふーや〔食ふや〕	二
くひいるーとし〔喰ひ入る如し〕	一	三	くひたりし〔食ひ足りし〕	二	四	クビライ〔忽必烈〕	二
くひいれーり〔食ひ入れり〕	一	三	くひたりて〔食ひ足りて〕	一	四	くふーより〔食ふより〕	一
くひうちき〔杭打機〕	一	三	くひたるる〔食ひ足りる〕	一	四	くふーを〔食ふを〕	一
くひかきーて〔食ひ欠きて〕	一	三	くひちがひゆき〔食ひ違ひゆき〕	一	四	くへ〔食へ〕	二
くびかざり〔首飾り〕	一	三	くひちがふ〔食ひ違ふ〕	一	四	くーべき〔来べき〕	六
くひかた〔食ひ方〕	一	三	くひちぎり〔食ひちぎり〕	一	四	くへーざる〔食へざる〕	二
くひーがてなくに〔食ひがてなくに〕	一	三	くひちらし〔食ひ散らし〕	一	四	くーべし〔来べし〕	二
くびき〔軛〕	一	三	くひちらしーたる〔食ひ散らしたる〕	一	四	くべーし	二
くびき〔頸城〕	一	三	くひちらす〔食ひ散らす〕	一	四	くべつ〔區別〕	一
くびきだひら〔頸城平〕	一	三	くひーつ〔食ひつ〕	一	四	くべつしーて〔區別して〕	二
くびきり〔首切り〕	一	三	くびづか〔首塚〕	一	四	くべーて	二
くびきる〔鹹る〕	一	三	くひつくさーれし〔食ひ尽されし〕	一	四	くへーど〔食へど〕	二
くひきれーず〔食ひきれず〕	一	三	くひつくし〔食ひ尽し〕	一	四	くへーども〔食へども〕	二
くひーけり〔喰ひけり〕	一	三	くひつくしーけり〔食ひ尽しけり〕	一	四	くへーない〔食へない〕	一
くひーける〔喰ひける〕	一	三	くひつくしーぬ〔食ひ尽しぬ〕	一	四	くへーなく〔食へなく〕	一
くひこむ〔喰ひ込む〕	一	三	くひーつつ〔食ひつつ〕	一	四	くへーぬ〔食へぬ〕	三
くひけ〔頸毛〕	一	三	くひーて〔食ひて〕	一	四	くへーば〔食へば〕	六
くひーけむ〔食ひけむ〕	一	三	くいとめてゐる〔喰ひ止めてゐる〕	一	四	くべーよ	二
くひーけり〔食ひけり〕	一	三	くひな〔水鶏〕	一	四	くべーよう	一
くひこむ〔食ひこむ〕	一	三	くひなが〔頸長〕	一	四	くべーられーつ	一
くひーし〔食ひし〕	一	三	くひーながら〔食ひ乍ら〕	一	四	くへーり〔食へり〕	一
くひーしかーど〔食ひしかど〕	一	三	くひなづむ〔食ひなづむ〕	一	四	くば〔窪〕	二
くひーしかーば〔食ひしかば〕	一	三	くひーなーむ〔食ひなむ〕	一	四	くばき〔凸き〕	二
くひしぱり〔食ひしぱり〕	一	三	くひなら〔水鶏ら〕	一	四	くぼち〔窪地〕	二
くひしぱりーぬ〔食ひしぱりぬ〕	一	三	くひーにーけり〔食ひにけり〕	一	四	くぼて〔窪手〕	二
くひしろ〔食糧〕	一	三	くひーぬ〔食ひぬ〕	一	四	くぼと〔窪処〕	二
くびじん〔虞美人〕	一	三	くびね〔頸根〕	一	四	くほうじ〔弘法寺〕	二
くびじんさう〔虞美人草〕	一	三	くひのこしーたる〔食ひ残したる〕	一	四	くぼまりーし〔凹まりし〕	一
くびす〔踵〕	一	三	くひはこび〔食ひ運び〕	一	四	くぼみ〔窪み〕	一
くひすぎーて〔喰ひすぎて〕	一	三	くひぶち〔食扶持〕	一	四	くぼみあと〔凹み跡・窪み跡〕	三
くびすぢ〔頸筋〕	一	三	くひへらしーつつ〔食ひ減らしつつ〕	一	四	くぼみーたり〔凹みたり〕	三
くひすてーて〔食ひすてて〕	一	三	くひほり〔杭ほり〕	一	四	くぼみーたる〔凹みたる〕	二
くひそむ〔食ひ初む〕	一	三	くひむさぼる〔喰ひむさぼる〕	一	四	くぼみゆく〔凹みゆく〕	二
くひーたかりーけり〔食ひたかりけり〕	一	三	くひもちーつつ〔喰ひもちつつ〕	一	四	くぼみる〔凹みみる〕	一
くひーたき〔食ひたき〕	一	三	くひーもてゆきーし〔喰ひもてゆきし〕	一	四	くぼむ〔窪む・凹む〕	一
くひーたくーなり〔食ひたくなり〕	一	三	くひもの〔食ひ物〕	一	四	くぼめーて〔凹めて〕	一
くびたけ〔首丈〕	一	三	くひものや〔食物屋〕	一	四	くぼめーり〔凹めり〕	一
くひーたし〔食ひたし〕	一	三	くひーもーやぶらーれーしーごとし〔喰ひも破られし〕	一	四	くぼめーる〔凹める〕	一

くぼやま〔窪山〕	二	七	くまのがは〔熊野川〕	二	七	くみあひ〔組合〕	二	八〇	くみーたまへーども〔組みたまへども〕	一	八二
くぼめーて〔窪めて〕	二	七	くまのかはぐち〔熊野川口〕	一	七	くみあひそうくわい〔組合総会〕	一	八〇	くみためーて〔汲み溜めて〕	一	八二
くぼんーだ〔凹んだ〕	一	七	くまのがわはら〔熊野川原〕	一	七	くみあひめん〔組合員〕	一	八〇	くみたてはじむ〔組み立てはじむ〕	一	八二
くま〔熊〕	一七	七	くまのくさはら〔熊野草原〕	一	七	くみあはせ〔組み合せ〕	一	八〇	くみたらはし〔汲みたらはし〕	一	八二
くま〔限〕	一〇六	七	くまのこ〔熊の子〕	三	七	くみあふ〔組み合ふ〕	一	八〇	くみーたり〔組みたり〕	二	八二
くま〔玖磨〕	三	七	くまのじ〔熊野路〕	四	七	くみあへり〔汲み合へり〕	二	八〇	くみーたり〔汲みたり〕	二	八二
くれーば	一	七	くまのなかへじ〔熊野中辺路〕	一	七	くみあへる〔汲み合へる〕	一	八〇	くみーたる〔汲みたる〕	二	八二
くまーうーよ〔酌まうよ〕	一	七	くまのなだ〔熊野灘〕	二	七	くみあらそひし〔汲み争ひし〕	一	八〇	くみーたれーど〔汲みたれど〕	一	八二
くまがやさう〔熊谷草〕	四	七	くまのの〔熊野野〕	一	七	くみいる〔汲み入る〕	二	八〇	くみづ〔汲水場〕	三	八二
くまがは〔球磨川〕	六	七	くまのーのーうみ〔熊野の海〕	一	七	くみいれーて〔汲み入れて〕	一	八〇	くみーつつ〔汲みつつ〕	六	八二
くまがや〔熊谷〕	三	七	くまのーのーうら〔熊野の浦〕	一	七	くみえーざる〔汲み得ざる〕	一	八〇	くみーつれ〔汲みつれ〕	一	八二
くまき〔熊来〕	一	七	くまのーのー灘〔熊野の灘〕	六	七	くみえーたる〔汲み得たる〕	一	八〇	くみーつれーて〔汲みつれて〕	二	八二
くまぐま〔限々〕	三	七	くまのーのーみや〔熊野の宮〕	一	七	くみおき〔組み置き〕	三	八〇	くみーて〔組みて〕	二〇	八二
くまぐらのやま〔熊倉の山〕	一	七	くまのーのーやま〔熊野の山〕	三	七	くみおきーし〔組み置きし〕	一	八〇	くみーて〔汲みて〕	三	八二
くまこうはちこう〔熊公八公〕	一	七	くまばち〔熊蜂〕	六	七	くみかきね〔組み重ね〕	一	八〇	くみーて〔汲みて〕	二	八二
くまざさ〔熊笹〕	四九	七	くまふ〔組まふ〕	一	七	くみかほしーり〔汲み交わし居り〕	一	八〇	くみーて〔汲みて〕	二	八二
くまざさこもり〔熊笹こもり〕	一	七	くまーまほしけれ	二	七	くみかはす〔汲み交わす〕	一	八〇	くみーたりーて〔汲みとりて〕	二	八二
くまざさはら〔熊笹原〕	二	七	くまみ〔限み〕	七	七	くみかへーて〔汲みかへて〕	一	八〇	くみーながら〔酌みながら〕	二	八二
くまざさむら〔熊笹むら〕	一	七	くまーむ〔汲まむ・酌まむ〕	九	七	くみきて〔汲み来て〕	一	八〇	くみーにーけり〔酌みにけり〕	一	八二
くませうちう〔球磨焼酎〕	一	七	くまもと〔熊本〕	四	七	くみこぼす〔汲みこぼす〕	二	八〇	くみーにーける〔汲みにける〕	二	八二
くませーて〔組ませて〕	二	七	くまやなぎ	一	七	くみさき〔久見崎〕	二	八〇	くみーぬ〔酌みぬ〕	一	八二
くまそ〔熊襲〕	一	七	くまれーくーる〔汲まれくる〕	一	七	くみさきーて〔汲みさきて〕	二	八〇	くみぬーらむ〔汲みぬらむ〕	一	八二
くまだ〔熊田〕	一	七	くまれーし〔組まれし〕	五	七	くみさしーて〔汲みさして〕	一	八〇	くみのぼる〔汲みのぼる〕	一	八二
くまで〔熊手〕	二	七	くまれーつつ〔組まれつつ〕	二	七	くみしーし〔汲みし〕	七	八〇	くみふせーられーぬ〔組みふせられぬ〕	一	八二
くまど〔限処〕	三	七	くまれーて〔組まれて〕	三	七	くみしーし〔酌みし〕	二	八〇	くみーもーとらう〔酌みも取らう〕	一	八二
くまどらーれーたる〔限取られたる〕	一	七	くまれーぬ〔汲まれぬ〕打消	一	七	くみしーし〔組みし〕	一	八〇	くみーやすく〔汲みやすく〕	一	八二
くまどり〔限取〕	二	七	くまれぬ〔汲まれぬ〕完了	一	七	くみしーし〔組みし得ぬ〕	二	八〇	くみーやる	一	八二
くまどりーて〔限取りて〕	三	七	くまれぬーて〔組まれぬて〕	一	七	くみしーて〔組みして〕	一	八〇	くみゆく〔組みゆく〕	一	八二
くまどりにーけり〔限取りにけり〕	一	七	くまんばち〔熊蜂〕	一	七	くみせーず〔伍せず〕	二	八〇	くみよりーて〔組み寄て〕	一	八二
くまどる〔限取る〕	五	七	くみ〔汲み〕	二	七	くみせーる〔與みせる〕	一	八〇	くみわけーて	一	八二
くまどーれーる〔限取れる〕	一	七	くみ〔酌み〕連用形	二〇	七	くみそめーし〔汲みそめし〕	一	八〇	くみゐーたり〔組みゐたり〕	一	八二
くまなき連体形	四	七	ぐみ〔葉黄〕	四	七	くみそめーし〔汲みそめし〕	一	八〇	くみゐる〔組みゐる〕	二	八二
くまなく連用形	六	七	ぐみ〔組み〕	二〇	七	くみたしーて〔汲み足して〕	一	八〇	くみをり〔汲みをり〕	一	八二
くまなけれ〔限なけれ〕	一	七	くみあぐる〔汲み上ぐる〕	五	七	くみだしーて〔汲み出して〕	一	八〇	くみをれーば〔酌みをれば〕	一	八二
くまなし〔限なし〕終止形	一	七	くみあげ〔汲み上げ〕	二	七	くみたたへる〔汲みたたへる〕	一	八〇	くみをれーば〔組み居れば〕	一	八二
くまーぬ	一	七	くみあげーし〔汲み上げし〕	九	七	くみたつ〔組立つ〕	一	八〇	くむ〔酌む・汲む〕終止形	七	八二
くまぬーのーうみ〔熊野海〕	一	七	くみあげーて〔汲み上げて〕	一	七	くみたて〔汲みたて〕	一	八〇	くむ〔汲む・酌む〕連体形	五	八二
くまの〔熊野〕	三	七	くみあげーにーけり〔汲み上げにけり〕	二	七	くみたてみず〔汲みたて水〕	二	八〇	くむ〔組む〕	三	八二
くまのあらを〔熊野あら男〕	一	七	くみあげゐーたり〔汲みあげゐたり〕	二	七	くみたてみず〔汲みたて水〕	二	八〇	くむーべかり〔酌むべかり〕	一	八二
くまのかいだう〔熊野街道〕	一	七	くみあはす〔組み合す〕	二	七	くみたてみず〔汲みたて水〕	二	八〇		五	八二

目次

くむーべき〔酌むべき〕	二	八五	くもでなは〔蜘蛛手縄〕	二	二五	くもみ〔雲居・雲井〕	四〇	二八
くむーべし〔酌むべし〕	一	八五	くもとーり〔蜘蛛取〕	二	二五	くもみたつを〔雲井・竜雄〕	一	二九
くむーや〔汲むや〕	一	八六	くもとーりのーやま〔雲取の山〕	一	二五	くもみのきよく〔雲井の曲〕	一	二九
くめ〔久米〕	一	八六	くもとーりやま〔雲取山〕	二	二六	くもみむら〔雲井村〕	一	二九
くめ〔久米〕	一	八六	くもぬち〔雲ぬち〕	一	二六	くもみろうさい〔雲井弄斎〕	一	二九
くめ〔来目〕	一	八六	くものい〔蜘蛛の糸〕	五	二六	くもん〔苦悶〕	二	二九
くめ〔酌め〕命令形	二	八六	くものいと〔蜘蛛の糸〕	三	二六	くやう〔供養〕	七	一九
くめい〔区名〕	一	八六	くものうみ〔雲の海〕	八	二六	くやうす〔供養す〕	一	一九
くめーど〔酌めど〕	三	八六	くもーのーこ〔蜘蛛の子〕&	一	二六	くやうする〔供養する〕	一	一九
くめーぬ〔酌めぬ〕	一	八六	くものみね〔蜘蛛の峰〕	二〇	二六	くやうたふ〔供養塔〕	一	一九
くめーども〔酌めども〕	一	八六	くもはく〔雲箔〕	二	二六	くやうせーむ〔供養せむ〕	一	一九
くめのこ〔久米の子〕	一	八六	くもはたやま〔雲畑山〕	一	二六	くやうひ〔供養碑〕	一	一九
くめのせんにな〔久米の仙人〕	一	八六	くもへり〔雲べり〕	四	二六	くやし〔供養〕	四	一九
くめーば〔酌めば〕	六	八六	くもま〔雲間〕	三	二六	くやしい〔悔しい〕	二	一九
くめーば〔組めば〕	一	八六	クモマベニヒカゲてふ〔クモマベニヒカゲ蝶〕	一	二七	くやしからーざり〔悔しからざり〕	一	一九
くめーり〔汲めり〕	六	八六	くもゆき〔雲行き〕	三	二七	くやしかりーし〔悔しかりし〕	一	一九
くめーる〔汲める〕	三	八六	くもよ〔雲夜〕	一	二七	くやしき〔悔しき・惜しき〕	二	一九
くめーる〔組める〕	三	八六	くもらく〔雲らく〕	三	二七	くやしかり〔惜しかり〕	一	一九
クメールぞく〔クメール族〕	一	八六	くもらーざりーし	一	二七	くやしかるーべし〔悔しかるべし〕	一	一九
くも〔雲〕	四	八六	くもらーしく〔雲らしく〕	一	二七	くやしき〔悔しき〕	四	一九
くも〔蜘蛛〕	一	八六	くもらす〔曇らす〕	一	二七	くやしけれーど	一	一九
くもあかり〔雲明り〕	一	八六	くもらーず〔曇らず〕	四	二七	くやしけれ	一	一九
くもあし〔雲脚〕	七	八六	くもらせーて〔曇らせて〕	一	二七	くやしき	一	一九
くもうつり〔雲移り〕	一	八六	くもらーひ〔曇らひ〕	三	二七	くやしーみ	七	一九
くもがくり〔雲がくり〕	三	八六	くもらーぬ〔曇らぬ〕	一	二七	くやしーも〔悔しも〕	一	一九
くもがくりーます〔雲隠ります〕	一	八六	くもらへり	一	二七	くやみ〔悔み〕	三	一九
くもかげ〔雲影〕	六	八六	くもらーむ	二	二七	くやみーて〔悔みて〕	三	一九
くもがはた〔雲ヶ畑〕	一	八六	くもり〔曇〕	一	二七	くやむ〔悔む〕	一	一九
くもきり〔雲霧〕	七	八六	くもり〔曇り〕	二〇	二七	くやむーなかれ〔悔むなかれ〕	一	一九
くもきりなか〔雲霧中〕	一	八六	くもりうみ〔曇海〕	一	二七	くゆ〔悔ゆ〕	五	一九
くもきれ〔雲切れ〕	二	八六	くもりかぜ〔曇風〕	二	二七	くゆらし〔燻らし〕	三	一九
くもげしき〔雲景色〕	一	八六	くもりがち〔曇りがち〕	一	二七	くゆらしあへーる	一	一九
くもこもり〔雲こもり〕	一	八六	くもりかねーつ	一	二七	くゆらしーも〔悔ゆらしも〕	一	一九
くもこもる〔雲こもる〕	二	八六	くもりがらす〔曇り硝子〕	一	二七	くゆらす〔燻ゆらす〕	一	一九
くもぢ〔雲路〕	三	八六	くもりきたれーり〔曇りきたれり〕	一	二七	くゆりーぬ〔薫ゆりぬ〕	二	一九
くもつ〔供物〕	一	八六	くもりきーて〔曇りきて〕	一	二七	くゆる〔燻ゆる〕	二	一九
くもづくり〔雲づくり〕	一	八六	くもりぐも〔曇雲〕	一	二七			
くもーたり〔雲ーたり〕	一	八六						
くもで〔蜘蛛手〕	一	八六						
くもでなす	一	八六						

くゆる〔悔ゆる〕	一六	三	くらくも〔暗くも〕	一	一三	くらふーのみ〔食らふのみ〕	一	一四
くゆれーる	一	三	くらくらと	一	一三	くらふーは〔食らふは〕	二	一四
くよくよと	四	三	くらぐらと〔暗暗と〕	六	一三	くらぶはうす〔クラブハウス〕	一	一四
くら〔倉・蔵・庫〕	三六	三	くらぐらと	一	一三	くらぶーべからず〔較ぶべからず〕	一	一四
くら〔鞍〕	三	三	くらげ〔水母・海月〕	七	一三	くらぶーべき〔比ぶべき〕	一	一四
くらーろ〔クローラー〕	一	三	くらけし〔昏けし〕	一	一三	くらぶーべき〔食らふべき〕	二	一四
くらあと〔倉庫跡〕	一	三	くらけれど〔昏けれど・暗けれど〕	七	一三	くらぶーべし〔食らふべし〕	一	一四
くらあひ〔倉あひ・倉間〕	三	三	くらければ〔昏ければ・暗ければ〕	九	一三	くらぶる〔較ぶる〕	二	一四
くらしい〔暗い〕	三	三	くささ〔暗さ〕	三	一三	くらぶれーば〔較ぶれば〕	五	一四
ぐらいだー〔ライダー〕	三	三	くささず〔暮さず〕	一	一三	くらべ〔比べ〕	二	一四
くらいどるきょうじゅ〔クлайドル教授〕	一	三	くさせーたまへ〔暮させたまへ〕	一	一四	くらべーざらーなむ	一	一四
くろう〔暗う〕	二	三	くささな〔暮さな〕	一	一四	くらべーつ	一	一四
くろう〔くろう〕〔苦勞〕	四	三	くさは〔くら沢〕	一	一四	くらべーて〔比べて〕	四	一四
くろうしーて〔苦勞して〕	一	三	くささまし〔暮らさまし〕	一	一四	くらべみーむ〔比べ見む〕	一	一四
くらうた〔蔵唄〕	一	三	くーらし〔来らし〕	三	一四	くらべみる〔比べ見る〕	一	一四
くらうて〔食らうて〕	一	三	〔こそ〕くーらし〔来らし〕	一	一四	くらべーられーつつ	一	一四
くらうよしつね〔九郎義経〕	一	三	くらし〔暮し〕	一〇	一四	くらへーる	一	一四
ぐらうんど〔グラウンド〕	二	三	くらし〔暗し〕	三三	一五	くらま〔鞍馬〕	八	一四
くらかげ〔倉蔭〕	三	三	ぐらじおらす〔ラジオオラス〕	一四	一七	くらまいしく〔鞍馬石工〕	一	一四
くらかけのやま〔鞍掛の山〕	二	三	くらしあぐみーし〔暮しあぐみし〕	一	一七	くらまいは〔鞍馬岩〕	一	一四
くらがの〔倉賀野〕	一	三	くらしかねーたる〔暮しかねたる〕	一	一七	くらまごけ〔鞍馬苔〕	二	一四
くらがまへ〔土蔵構へ〕	一	三	くらしきーぬ〔暮しきぬ〕	一	一七	くらまでら〔鞍馬寺〕	三	一四
くらがり〔暗がり〕	一	三	くらしきーのーまち〔倉敷の町〕	一	一七	くらまのーやま〔鞍馬の山〕	三	一四
くらがり〔暗がり〕	三	三	くらしけむ〔暮しけむ〕	一	一八	くらまえばし〔蔵前橋〕	一	一四
くらき〔暗き〕	三七	三	くらしけり〔暮しけり〕	一	一八	くらまみち〔鞍馬道〕	一	一四
くらきーなり〔暗きなり〕	一	三	くらしける〔暮しける〕	一	一八	くらまやま〔鞍馬山〕	二	一四
くらきーに〔暗きに〕	五	三	くらしし〔鞍鹿〕	一	一八	くらまりにーけり〔暗まりにけり〕	一	一四
くらきーにーて〔暗きにて〕	一	三	くらしたまひーし〔暮し給ひし〕	一	一八	くらまる〔暗まる〕	二	一四
くらきーにーのみ〔暗きにのみ〕	一	三	くらしたる〔暮したる〕	二	一八	くらみ〔暗み〕	三	一四
くらきーにーも〔暗きにも〕	二	三	くらしつ〔暮しつ〕	五	一八	くらみ〔暗み〕	二	一四
くらきーばかりに〔暗きばかりに〕	一	三	くらーしつ〔クローラー室〕	一	一八	くらみきーて〔暗みきて〕	一	一四
くらきーへ〔暗きへ〕	二	三	くらして〔暮して〕	七	一八	くらみくーし〔昏み来し〕	一	一四
くらきーまで〔暗きまで〕	五	三	くらしぬ〔暮しぬ〕	一	一八	くらみゆく〔昏み行く〕	一	一四
くらきーも〔暗きも〕	一	三	くらしぶり〔生活ぶり・暮しぶり〕	一	一八	くらみそめーたり〔暗み染めたり〕	一	一四
くらきーより〔暗きより〕	一〇	三	くらしーます〔暮します〕	二	一八	くらみそめーたる〔昏らみ染めたる〕	一	一四
くらきーを〔暗きを〕	六	三	くらしむき〔暮しむき〕	二	一八	くらみーたる〔昏らみたる〕	一	一四
くらく〔暗く〕	一七	三	くらしーも〔来らしも〕	八	一八	くらみーつ〔昏みつ〕	一	一四
くらく〔苦業〕	一	三	くらしーも〔暗しも〕	二	一八	くらみーつ〔昏みつ〕	一	一四
くらくーして〔暗くして〕	一五	三	くらしゆく〔暮しゆく〕	一	一八	くらみーて〔暗みて〕	二	一四
くらくーて〔暗くて〕	三	三	くらしーらしき〔暮しらしき〕	一	一八			

目次

くらみーなーむ〔暗みなむ〕	一	一四	くりかへしをり〔繰り返し居り〕	三	一四	くるしかれーども	一	一六
くらみーぬ〔暗みぬ〕	一	一四	くりかへす〔繰り返す〕	二	一四	くるしーき	一	一六
くらみゆき〔暗みゆき〕	一	一四	くりかへすーとーや〔繰り返すとや〕	一	一四	くるしく〔苦しく〕	一	一六
くらみゆきーつつ〔暗みゆきつつ〕	一	一四	くりかへすーにーぞ〔繰り返すとや〕	一	一四	くるしくーて	一	一六
くらみゆきーぬ〔暗みゆきぬ〕	一	一四	くりかへすーのみ〔繰り返すのみ〕	一	一四	くるしくーも	一	一六
くらみゆく〔暗みゆく〕	七	一四	くりかへすーらし〔繰り返らし〕	一	一四	くるしげならーぬ	一	一六
くらみゆけーば〔暗みゆけば〕	二	一四	くりから〔俱利伽羅〕	一	一四	くるしげなり〔苦しげなり〕	一	一六
くらむ〔来らむ〕	一	一四	くりからーのーたふげ〔俱利伽羅の峠〕	一	一四	くるしけれーども	一	一六
くらむ〔昏む〕	一九	一四	くりからーのーやま〔俱利伽羅の山〕	一	一四	くるしけれーば	一	一六
くらむ〔眩む〕	二	一四	くりーく〔クリーク〕	七	一四	くるしき〔苦しき〕	一	一六
くらむーらし〔昏むらし〕	一	一四	くりーくさげふ〔クリーク作業〕	一	一四	くるしび〔苦しび〕	一	一六
くらめーて〔冥めて〕	一	一四	くりーくざんがう〔クリーク野壕〕	一	一四	クルシブル〔磁製埴塙〕	一	一六
くらめーやーも〔来らめやも〕	一	一四	くりけつと〔クリケツト〕	一	一四	くるしま〔来島〕	一	一六
くらめーる〔暗める〕	一	一四	くりげーのーうま〔栗毛の馬〕	一	一四	くるしまーず〔苦しまず〕	一	一六
くらはしき〔藏屋敷〕	一	一四	くりこまーのーやま〔栗駒の山〕	一	一四	くるしまーのーうみ〔来島海〕	一	一六
くらはやみ〔暗闇〕	二四	一四	くりさきどうき〔栗崎道喜〕	一	一四	くるしまーば	一	一六
くらはやみそら〔暗闇空〕	一	一四	くりーし〔繰りし〕	二	一四	くるしまーむ	一	一六
くらはらう〔庫郎〕	一	一四	くりすちゃん〔クリスチャン〕	二	一四	くるしまーん	一	一六
くらはらねつと〔クラリネット〕	一	一四	くりすと〔クリスト〕	一	一四	くるしみ〔苦しみ〕	一	一六
くらはら〔位〕	一	一四	くりすとらあちゅうゐ〔リクリストラア中尉〕	一	一四	くるしみーけらし〔苦しみけらし〕	一	一六
くらはらして〔位して〕	一	一四	くりすます〔クリスマス〕	六	一四	くるしみーし	一	一六
くらのやま〔位山〕	一	一四	くりすます・かくたす〔クリスマス・カクタス〕	一	一四	くるしみーつつ	一	一六
くり〔庫裡・庫裏〕	二四	一四	くりすます・せーる〔クリスマス・セール〕	一	一四	くるしみーて	一	一六
くり〔栗〕	一六七	一四	くりすます・つりー〔クリスマス・ツリー〕	一	一四	くるしみとほし〔苦しみ通し〕	一	一六
くり〔繰り〕	二	一四	くりすますすーいせん〔クリスマス停戦〕	一	一四	くるしみーぬ	一	一六
くりあがりーたり〔繰り上りたり〕	一	一四	くりすますぶれぜんと〔クリスマスプレゼン	二	一四	くるしみゐーし	一	一六
くりー〔苦力〕	七	一四	ト〕	一	一四	くるしむ〔苦しむ〕終止形	一	一六
くりいが〔栗毬〕	一	一四	くりすますろーず〔クリスマスローズ〕	一	一四	くるしむ〔苦しむ〕倒置法	一	一六
くりーら〔苦力等〕	三	一四	くりたけ〔栗茸〕	一	一四	くるしむ〔苦しむ〕連体形	一	一六
くりいろ〔栗色〕	一	一四	くりだしへう〔繰出表〕	一	一四	くるしむーに	一	一六
くりうら〔庫裏裏〕	一	一四	くりたまはち〔栗玉蜂〕	一	一四	くるしむーは	一	一六
くりおちば〔栗落葉〕	一	一四	くりーつつ〔繰りつつ〕	二	一四	くるしむーを	一	一六
くりおろす〔繰り降ろす〕	一	一四	くりーて〔繰りて〕	四	一四	くるしむる	一	一六
くりかへさーるる〔繰り返へさるる〕	二	一四	くりのき〔栗の木〕	一七	一四	くるしめ〔苦しめ〕	一	一六
くりかへし〔繰り返し〕	二〇	一四	くりーにーけり〔繰りにけり〕	一	一四	くるしめーて	一	一六
くりかへしーつつ〔繰り返しつつ〕	一	一四	くりぬかーる〔くり抜かる〕	一	一四	くるしめーど	一	一六
くりかへしーみーて〔繰り返し見て〕	一	一四	くりはやし〔栗林〕	一	一四	くるしめーり	一	一六
くりかへしみる〔繰り返し見る〕	一	一四	くりはら〔栗原〕	二	一四	くるしめーる	一	一六
くりかへしよむ〔繰り返し読む〕	一	一四	くりひろげ〔繰り広げ〕	二	一四	くるしーも	一	一六
くりかへしゐる〔繰り返しゐる〕	一	一四	くりみれーば〔繰り見れば〕	二	一四			

クルス	三	一六三	クルブ〔報罪〕	二	一六五	くるみもちひ〔胡桃もちひ〕	一	一七三	くる―を〔来るを〕	一〇	一七五
くるつ―た〔狂った〕	二	一六四	くるふ―ごと	一	一六五	くるめかすり〔久留米絢〕	二	一七三	くれ〔畦〕	一	一七五
くる―てふ	一	一六四	くるふ―とて	一	一六五	くるめか―む	一	一七三	くれ〔塊〕	一	一七五
くる―と〔来ると〕	八	一六四	くるふ―とーや〔狂ふとや〕	一	一六五	くるめき	一	一七三	くれ〔歳暮〕	一	一七五
くる―と―し	一	一六四	くるぶし〔踝〕	七	一六五	くるめきこち	一	一七三	くれ〔暮〕	六	一七五
くる―とて	一	一六四	くるへ〔狂へ〕	一	一六六	くるめき―さしいる	一	一七三	くれ〔来れ〕	一	一七六
くる―とふ〔来るとふ〕	二	一六四	くる―へき〔来るべき〕	二	一六六	くるめき―て	三	一七三	くれ〔呉れ〕	六	一七六
くる―とも〔来るとも〕	三	一六四	くる―べく〔来るべく〕	一	一六六	くるめき―に―けり	一	一七三	くれ〔呉れ〕	一	一七六
くる―なり〔来るなり〕	六	一六四	くるへ―ど	一	一六六	くるめく	六	一七三	くれ〔暮れ〕	二	一七六
くる―なり〔暮るなり〕	一	一六四	くるへ―り〔狂へり〕	二	一六六	くるめ―けり	二	一七三	くれあき〔暮秋〕	一	一七六
くる―なり〔来るなり〕	一	一六四	くるへ―る〔狂へる〕	九	一六六	くるめ―ける	一	一七三	くれあい〔暮れあい〕	一	一七七
くる―に	四	一六四	くるへ―る―ごとく	一	一六六	くるめ―ば	一	一七三	くれあへ―ぬ〔暮れあへぬ〕	一	一七七
くる―は	五	一六四	くるへ―れ―ば	一	一六六	くる―も	七	一七三	くれいそぐ〔暮急ぐ〕	一	一七七
くる―は―くる―は〔来るは来るは〕	一	一六四	くるほし〔狂ほし〕	一	一六六	くる―や	一	一七三	くれいら―む〔昏れ入らむ〕	一	一七七
くる―ので〔来るので〕	一	一六四	くるほしく〔狂おしく〕	八	一六六	くる―やうだ	一	一七三	くれいら―む〔昏れ入らむ〕	二	一七七
くるは―しむ〔狂はしむ〕	一	一六四	くるま〔車〕	七	一六六	くる―やと	二	一七三	くれいり―し	二	一七七
くるは―む〔狂はむ〕	一	一六四	くるまいす〔車椅子〕	二七九	一六六	くる―や―も	一	一七三	くれいり―て〔暮れ入りて〕	一	一七七
くるは―む	三	一六四	くるま―おとし―て	四	一七〇	くる―よ	二	一七三	くれいり―に―けり〔暮れいりにけり〕	四	一七七
くるひさき〔狂ひ咲き〕	一	一六四	くるまがへし〔車返し〕	一	一七〇	くる―らし	一	一七三	くれいる〔暮れいる〕	四	一七七
くるひ〔狂ひ〕	二	一六四	くるまがへし〔車返し〕	一	一七〇	くる―らしき	一	一七三	くれいる―らし―も	一	一七七
くるひいで	三	一六四	くるまさう〔車草〕	四	一七〇	くる―らし―も	一	一七三	くれいろ〔暮色・昏色〕	三	一七七
くるひうつ〔狂ひ打つ〕	一	一六五	くるま―ぬち	一	一七〇	くるり	一	一七三	クレイン	一	一七七
くるひゑ〔狂ひ声〕	一	一六五	くるまみち〔車道〕	一	一七〇	ぐるり	一	一七三	くれおくれ―たる	一	一七七
くるひさき〔狂ひ咲き〕	一	一六五	くるま―む	一	一七〇	ぐるりと	三	一七三	クレオソート	二	一七七
くるひさき―たる	一	一六五	くるまやどり	一	一七〇	くるる	七	一七三	クレオソートえき〔クレオソート液〕	一	一七七
くるひさく〔狂ひ咲く〕	一	一六五	くるまよせ	一	一七〇	くるる〔呉るる〕	二	一七四	クレオソートぐわん〔クレオソート丸〕	一	一七七
くるひ―し〔狂ひし〕	二	一六五	くるまゆり〔車百合〕	二	一七〇	くるる―と	二	一七四	くれおち―し	一	一七七
くるひ―すさみ―て	一	一六五	くるまら〔車ら〕	二	一七二	くるる―なり	五	一七四	くれおち―し	一	一七七
くるひ―たく	一	一六五	くるまり	三	一七二	くるる―に	一〇	一七四	くれおち―て	三	一七七
くるひたつ〔狂ひ立つ〕	一	一六五	くるまり―て	二	一七二	くるる―まで〔暮るるまで〕	二	一七四	くれおち―に―けり	一	一七七
くるひさき〔狂ひ咲き〕	一	一六五	くるまりねむる	一	一七二	くるる―まで―も	二	一七四	クレオパトラ	一	一七七
くるひ―たる〔狂ひたる〕	三	一六五	くるまらど	一	一七二	くるる―も〔暮るるも〕	一	一七四	クレオン〔クレオン〕	一	一七七
くるひ―たる―ぞ―や	一	一六五	くるまい―の―みづつ〔車井の井筒〕	一	一七二	くるる―も〔暮るるも〕	一	一七四	くれかか―り〔暮れかか―り〕	一	一七七
くるひ―たる―べし	一	一六五	くるまれ―て	一	一七二	くるる―らし	一	一七四	くれかか―り―けり	一	一七六
くるひ―て	一	一六五	くるまらど〔車井戸〕	一	一七二	くるる―らしき	一	一七四	くれかか―り―たり	二	一七六
くるひは―つ―べき	二	一六五	くるみ〔胡桃〕	四	一七二	くるる―を	一	一七五	くれかか―りをる〔暮れかか―りをる〕	一	一七六
くるひばらく〔狂ひ馬楽〕	一	一六五	くるみあへ〔胡桃和へ〕	二	一七二	くるれ―ば	一〇	一七五	くれかか―る〔暮れかか―る〕	一八	一七六
くるひびとら〔狂ひ人等〕	一	一六五	くるみき〔胡桃木〕	一	一七二	くるわ	九	一七五	くれかけ―て	二	一七六
くるひ―やすし〔狂ひ易し〕	一	一六五	くるみどて〔包み土手〕	一	一七二	くるわだいこ〔廓太鼓〕	一	一七五	くれがた〔暮方〕	二九	一七六
くるふ〔狂ふ〕	二	一六五	くるみ―の―き〔胡桃の木〕	五	一七二	くるわまち〔廓町〕	一	一七五	くれ―がたき〔暮れがたき〕	二	一七六

目次

くれーがたく〔暮れがたく〕	一	一六	くれぞら〔暮空・昏空〕	二	一八	くれはてーし	七	一九
クレギー	一	一六	くれーた〔呉れた〕	一	一八	くれはてーず〔暮れはてず〕	二	一九
クレギーたいし〔クレギー大使〕	一	一六	くれーた〔暮れた〕	四	一八	くれはてーて〔暮れはてて〕	八	一九
くれきーつ〔来れきつ〕	一	一六	くれーたけ〔呉竹〕	三	一八	くれはてーなくに〔暮れはてなくに〕	一	一九
くれきは〔昏際〕〔暮れ際〕	五	一六	くれたたけいろ〔呉竹色〕	一	一八	くれはてーにけり〔暮れはてにけり〕	四	一九
くれきらーず〔暮れきららず〕	二	一六	くれたまひーけり	二	一八	くれはてーぬ〔暮れはてぬ〕	四	一九
くれきらーぬ〔暮れきらぬ〕	七	一六	くれーたり〔暮れたり〕	二	一八	くれーばや〔呉ればや〕	一	一九
くれきりーし	一	一六	くれーたり〔呉れたり〕	二	一八	くれひそまりーつ〔暮れひそまりつ〕	三	一九
くれきりーて	三	一六	くれーたり〔暮れたる〕	九	一八	くれまら〔クレマチス〕	一	一九
くれきりーぬ	一	一六	くれーたる〔暮れたる〕	〇	一八	くれみち〔昏道〕	一	一九
くれきる〔暮れきる〕	一	一六	くれーたる〔呉れたる〕	四	一八	くれーむ〔暮れむ〕	七	一九
くれぐれーの〔暮々の〕	一九	一六	くれーたれーど	一	一八	くれーむーと〔暮れむと〕	二	一九
くれぐれーて〔暮れぐれて〕	一	一六	くれたーれーば	三	一八	くれーむーとぞ	二	一九
くれーけり〔呉れけり〕	三	一六	くれーつ〔呉れつ〕	二	一八	くれーむーとも	二	一九
くれーけり〔暮れけり〕	七	一六	くれーつ〔暮れつ〕	五	一八	くれーやう〔暮れやう〕	一	一九
くれーける〔暮れける〕	一	一六	ぐれつ〔愚劣〕	一	一八	くれーやすい	一	一九
くれーける〔呉れける〕	一	一六	くれつがた〔暮つ方〕	一	一八	くれーやすき	一	一九
くれーけるーよ	二	一六	くれづく〔昏れづく〕	二	一八	くれーやすし	一	一九
グレゴリアンセイカ〔クレゴリアン聖歌〕	一	一六	くれつち〔塊土〕	一	一八	くれやみ〔昏闇〕	一	一九
くれーろ〔暮頃〕	一	一六	くれーつつ〔暮れつつ〕	二	一八	くれやらーて	一	一九
くれーさうに〔呉れさうに〕	一	一六	くれーつる〔暮れつる〕	一	一八	くれやりーて	一	一九
くれーし〔呉れし〕	二	一六	くれーて〔暮れて〕	一	一八	くれゆかーむ	一	一九
くれしづみ〔暮れしづみ〕	一	一六	くれーて〔呉れて〕	三	一八	くれゆきーて	一	一九
くれしづみーたり	一	一六	くれどき〔暮れ時〕	三	一八	くれゆきーにけり	一	一九
くれしづみーたる	一	一六	くれーども	三	一八	くれゆきーぬ	一	一九
くれしづみゆく	二	一六	くれーながら〔暮れながら〕	一	一八	くれゆく〔暮れ行く〕終止形	二	一九
くれしづむ〔昏れ沈む〕	三	一六	くれなづみ〔暮れなづみ〕	三	一八	くれゆく〔暮れゆく〕連体形	二	一九
グレシヤ	一	一六	くれなづみーたる	二	一八	くれゆくーと	一	一九
くれしやうぐわつ〔暮正月〕	二	一六	くれみづみーつつ	一	一八	くれゆくーも	一	一九
くれーず〔暮れず〕	九	一六	くれなづみある	一	一八	くれゆけーど	一	一九
くれーず〔呉れず〕	一	一六	くれなづみをり	一	一八	くれゆけーば	一	一九
くれそむ〔暮れ初む〕	一	一六	くれなづむ〔暮れなづむ〕	一	一八	くれゆけーり	一	一九
くれそむる〔暮れ初むる〕	五	一六	くれーなーむ〔暮れなむ〕	四	一八	くれゆけーる	一	一九
くれそめ〔暮れそめ〕	一	一六	くれなやむ〔暮れなやむ〕	二	一八	くれよ〔呉れよ〕	三	一九
くれそめーし〔暮れそめし〕	四	一六	くれなみ〔紅〕	一	一八	くれる〔暮れる〕	七	一九
くれそめーて〔暮れそめて〕	七	一六	くれなみいろ〔紅色〕	一	一八	くれる〔呉れる〕	七	一九
くれそめーにけり	一	一六	くれなみさうび〔紅薔薇〕	二	一八	くれよん〔クレヨン〕	二	一九
くれそめーにけり	一	一六	くれなみだちーて	一	一八	くれわたりけり〔動詞・助動詞〕	一	一九
くれそめーぬ	一	一六	くれなみづきーぬ	一	一八			

目次

くれわたる〔昏れわたる〕	四	二〇二	くろかつら	一	二〇五	くろぬり〔黒塗〕	二	二二五	一	二二八
くれわたるーなり	一	二〇二	くろがね	二三	二〇五	くろぬりえん〔黒塗縁〕	一	二二八	一	二二八
くれをしむ〔暮れ惜しむ〕	二	二〇二	くろがねばし〔くろがね橋〕	二	二〇五	くろぬりびと〔畔塗人〕	一	二二八	一	二二八
くれをり〔昏れをり〕	一	二〇二	くろがねもち	二	二〇五	くろねこ〔黒猫〕	一	二二八	一	二二八
くれーん〔暮れん〕	九	二〇二	くろかは〔黒川〕	一	二〇五	くろーばー〔クロバー〕	二	二二八	一	二二八
クレーン	一三	二〇三	くろかばん〔黒鞆〕	一	二〇五	くろぼうずやま〔黒坊主山〕	一	二二九	一	二二九
クレーンシャ〔クレーン車〕	一	二〇三	くろかみ〔黒髪〕	七五	二〇五	くろばら〔黒バラ〕	一	二二九	一	二二九
ぐれん〔紅蓮〕	一	二〇三	くろかみーやま〔黒髪山〕	一	二〇七	くろびえ〔黒檜〕	二	二二九	一	二二九
ぐれんたい〔愚連隊〕	三	二〇三	くろがみやま〔黒髪山〕	一	二〇七	くろびえ〔黒檜〕	二	二二九	一	二二九
グレンジンしじせんき〔グレンジン式磁選機〕	一	二〇三	くろかりーし	四	二〇七	くろびかり〔黒光り〕	二	二二九	一	二二九
			くろき〔黒き〕	三二	二〇七	くろびかりしーて	一	二二九	一	二二九
ぐれんどう〔紅蓮洞〕	一	二〇三	くろき〔黒木〕	三	二〇七	くりびかりする〔黒光りする〕	二	二二九	二	二二九
くろ〔黒〕	一	二〇三	くろきーよあと〔黒木御所跡〕	一	二〇〇	くろびかる〔黒光る〕	二	二二九	二	二二九
くろ〔畔〕	三四	二〇三	くろきーよみち〔黒木御所道〕	一	二〇〇	くろびし〔黒菱〕	二	二二九	二	二二九
くろ〔黒馬〕	一	二〇四	くろきしにあ〔グロキシア〕	二	二〇〇	くろびーたり〔黒びたり〕	一	二二九	一	二二九
くろいわ〔黒岩〕	一	二〇四	くろきーのーごしょ〔黒木の御所〕	一四〇	二〇〇	くろひとみ〔黒瞳〕	二	二二九	二	二二九
くろうんも〔黒雲母〕	一	二〇四	くろく〔黒く〕	二	二〇二	くろひめ〔黒姫〕	一	二二九	三	二二九
くろ〔黒〕	二	二〇四	くろくさ〔畔草〕	二	二〇二	くろひめーのーやま〔黒姫山〕	五	二二九	一	二二九
くろあかき	一	二〇四	くろくつした〔黒靴下〕	一	二〇二	くろひめやま〔黒姫山〕	一	二二九	一	二二九
くろあきつ〔黒蜻蛉〕	一	二〇四	くろくも〔黒雲〕	九	二〇二	くろふ〔黒斑〕	一	二二九	一	二二九
くろあげは〔黒揚羽〕	二	二〇四	くろくろ〔黒々〕	二	二〇二	グロープ	二	二二九	二	二二九
くろあげはてふ〔黒揚羽蝶〕	一	二〇四	くろぐろく	二	二〇三	くろふく〔黒服〕	一	二二九	一	二二九
くろあさい〔黒麻衣〕	一	二〇四	くろぐろし〔黒々し〕	三	二〇三	くろぶた〔黒豚〕	三	二二九	一	二二九
くろあづき〔畔小豆〕	一	二〇四	くろぐろと〔黒々と〕	九二	二〇三	くろふね〔黒船〕	二	二二九	二	二二九
くろあり〔畔蟻〕	三	二〇四	くろぐろとーして	八	二〇四	くろべ〔黒部〕	一	二二九	二	二二九
くろあん〔畔鮎〕	一	二〇四	くろくるみ〔黒胡桃実〕	一	二〇四	くろべ〔黒部〕	一	二二九	二	二二九
くろい〔黒い〕	八	二〇四	くろぐわいたう〔黒外套〕	一	二〇四	くろへう〔黒豹〕	二	二二九	二	二二九
くろいぬ〔黒犬〕	三	二〇四	くろき〔黒き〕	一	二〇四	くろべすいしーう〔黒部水晶〕	二	二二九	二	二二九
くろいは〔黒岩〕	一	二〇四	くろけ〔黒毛〕	一	二〇四	くろべーのーたに〔黒部の谷〕	三	二二九	一	二二九
くろう〔黒う〕	四	二〇四	くろけむし〔黒毛蟲〕	一	二〇四	くろぼ〔久呂保〕地名	一	二二九	一	二二九
くろうし〔黒牛〕	五	二〇四	くろけむり〔黒煙〕	六	二〇四	くろぼ〔黒穂〕	二	二二九	一	二二九
くろうしがた〔黒牛瀉〕	一	二〇五	くろこま〔黒駒〕	一	二〇四	くろぼたん〔黒牡丹〕	一	二二九	一	二二九
ぐろうせーし〔愚弄せし〕	一	二〇五	くろこま〔黒駒〕	一	二〇四	クロボトキン	三	二二九	一	二二九
くろうと〔玄人〕	一	二〇五	くろごま〔黒胡麻〕	一	二〇四	くろまさいはほ〔黒沢厳〕	一	二二九	一	二二九
くろえ〔黒絵〕	一	二〇五	くろごめ〔玄米〕	四	二〇四	くろまーず〔黒ます〕	一	二二九	一	二二九
くろかし〔黒檜〕	一	二〇五	くろさ〔黒さ〕	三	二〇四	くろまつ〔黒松〕	六	二二九	一	二二九
くろがきづし〔黒柿厨子〕	一	二〇五	くろさきがた〔黒崎潟〕	一	二〇五	くろみ〔黒実〕	五	二二九	一	二二九
くろがしーのーき〔黒櫨の木〕	一	二〇五	くろざとう〔黒砂糖〕	一	二〇五	くろみ〔黒み〕連用形	一〇	二二九	一	二二九
クロッカス	三	二〇五	くろさはがは〔黒沢川〕	一	二〇五	くろみきーて〔黒み来て〕	一	二二九	一	二二九
くろかつしよく〔黒褐色〕	一	二〇五	くろし〔黒し〕	四二	二〇五	くろみーし〔黒みし〕	三	二二九	一	二二九

目次

くろみーたらーずや〔黒みたらずや〕	一	三〇	くわいきいはい〔快気祝〕	一	三三	くわいめつ〔壊滅〕	一	三七
くろみーたり〔黒みたり〕	二	三〇	くわいきゅう〔懷舊〕	一	三三	くわいもん〔回文〕	一	三七
くろみーたる〔黒みたる〕	三	三三	くわいきこや〔外氣小舎〕	一	三三	くわいやう〔潰瘍〕	一	三七
くろみーて〔黒みて〕	一	三三	くわいきしーて〔回帰して〕	一	三三	くわいやう〔外洋〕	一	三七
くろみゆく〔黒みゆく〕	一	三三	くわいきす〔回帰す〕	一	三三	くわいやしゅ〔外野手〕	二	三七
くろみわたれーる〔黝みわたれる〕	一	三三	くわいぎせーられーけり〔回議せられけり〕	一	三三	くわいゆ〔快癒〕	一	三七
くろむ〔黒む〕	四	三三	くわいぎせーる〔懷疑せる〕	二	三三	くわいらいわう〔傀儡王〕	一	三七
くろむし〔黒虫〕	一	三三	くわいぎてき〔懷疑的〕	一	三三	くわいらう〔廻廊〕	一九	三七
くろめ〔黒眼〕	一	三三	くわいぎなば〔會議半ば〕	一	三三	くわいらうだて〔廻廊建て〕	一	三七
くろめがち〔黒眼がち〕	一	三三	くわいぎよく〔魁玉〕	一	三三	くわいらく〔快樂〕	一	三七
くろめがね〔黒眼鏡〕	二	三三	くわいぐわ〔絵画〕	一	三三	くわいりんざん〔外輪山〕	二	三八
くろめーり〔黒めり〕	一	三三	くわいくわう〔怪光〕	一	三三	くわいらんざん〔外輪山〕	二	三八
くろめーる〔黒める〕	一	三三	くわいくわい〔外光〕	二	三三	くわいら〔懷妒〕	六	三八
くろもじ〔鉤樟〕	七	三三	くわいくわうつうしん〔回光通信〕	一	三三	くわいわ〔會話〕	一	三八
くろもじ〔黒文字〕	四	三三	くわいかく〔外郭〕	二	三三	くわいわしてをり〔會話してをり〕	一	三八
くろもん〔黒門〕	一	三三	くわいぐわくわん〔絵画館〕	三	三三	くわいゐーなり〔魁偉なり〕	一	三八
くろもんまえ〔黒門前〕	一	三三	くわいけい〔外形〕	一	三三	くわいゐん〔外園〕	一	三八
くろゆり〔黒百合〕	六	三三	くわいけうじみん〔回教寺院〕	一	三三	くわうい〔黄衣〕①無地の黄色の袍。②黄色の法衣。	一	三八
くろより〔畔寄り〕	一	三三	くわいこ〔回顧〕	一	三三	くわうえい〔光栄〕	一	三八
くろよんだむ〔黒四ダム〕	二	三三	くわいこく〔廻国〕	一	三三	くわうえつ〔光悦〕	四	三八
くろらく〔黒楽〕	一	三三	くわいこく〔外国〕	一	三三	くわうえう〔黄葉〕	二	三八
くろーる〔クロール〕	一	三三	くわいこくじん〔外国人〕	二	三三	くわうが〔黄河〕	五	三八
くろわく〔黒枰〕	三	三三	くわいこくせん〔外国船〕	二	三三	くわうかい〔黄海〕	二	三八
くろんば〔黒坊〕	二	三三	くわいこくへい〔外国兵〕	二	三三	くわうかく〔黃鶴〕	一	三八
くろんばへい〔黒奴兵〕	一	三三	くわいこくまい〔外国米〕	一	三三	くわうがけふこく〔黄河峡谷〕	一	三八
くわ〔桑〕	六	三三	くわいこん〔悔恨〕	二	三三	くわうきにせんごひやくくじふしちねん〔皇紀二千五百九十七年〕	一	三八
くわい〔慈姑〕	一	三三	くわいさう〔回想〕	一	三三	くわうきにせんろくぴやくいちねん〔皇紀二千六百一年〕	一	三八
くわい〔会〕	一九	三三	くわいさう〔会葬〕	一	三三	くわうきにせんろくぴやくいちねん〔皇紀二千六百一年〕	一	三八
くわい〔塊〕	一	三三	くわいさうしやせき〔会葬者席〕	一	三三	くわうきにせんろくぴやくいちねん〔皇紀二千六百一年〕	一	三八
くわいいう〔廻遊〕	一	三三	くわいし〔懷紙〕	一	三三	くわうきよ〔皇居〕	七	三八
くわいえん〔外苑〕	二	三三	くわいじう〔怪獸〕	一	三三	くわうきよまへ〔皇居前〕	一	三九
くわいが〔恢河〕	一	三三	くわいじゅう〔懷柔〕	二	三三	くわうきよまへひろば〔皇居前広場〕	一	三九
くわいがい〔外界〕	一	三三	くわいじふ〔回收〕	一	三三	くわうきよまへひろば〔皇居前広場〕	一	三九
くわいがふ〔会合〕	四	三三	くわいじゅうや〔回收屋〕	一	三三	くわうくわう〔煌々〕	一	三九
くわいかん〔快感〕	四	三三	くわいしや〔会社〕	二	三三	くわうくわうと〔眩暈〕	一	三九
くわいき〔怪奇〕	一	三三	くわいじよう〔会場〕	一	三三	くわうくわつ〔黃褐〕	六	三九
くわいき〔回帰〕	一	三三	くわいじよう〔塊状〕	一	三三	くわうくわん〔光華門〕	一	三九
くわいき〔會議〕	一	三三	くわいじゅうじやう〔懷柔城〕	一	三三	くわうぐん〔皇軍〕	一	三九
くわいぎ〔懷疑〕	一	三三	くわいじゅうつ〔外出〕	八	三三	くわうぐんき〔皇軍機〕	四	三九
ぐわいき〔外氣〕	三	三三	ぐわいしゅつする〔外出する〕	一	三五			

くわうけい〔光景〕	一	三九	くわうはい〔光背〕	二	三三	くわざんこ〔火山湖〕	二	三三
くわふげふしよ〔砒業所〕	一	三九	くわうばい〔黄梅〕	二	三三	くわざんこう〔火山口〕	一	三三
くわうげん〔光源〕	二	三九	くわうばう〔光茫〕	二	三三	くわざんすな〔火山砂〕	一	三三
くわうこう〔皇后〕	五	三九	くわうひ〔王妃〕	一	三三	くわざんはひ〔火山灰〕	二	三三
くわうこうへいか〔皇后陛下〕	二	三九	くわうふ〔鈇夫〕	一	三三	くわざんはひち〔火山灰地〕	二	三三
くわうこく〔广告〕	七	三九	くわうみよう〔光明〕	七	三三	くわざんはひど〔火山灰土〕	二	三三
くわうこく〔皇国〕	一	三九	くわうみようかい〔光明界〕	二	三三	くわざんれき〔火山礫〕	二	三三
くわうこくきう〔广告球〕	一	三九	くわうみやうくわうこう〔光明皇后〕	一	三三	くわざんろく〔火山麓〕	一	三三
くわうこくききう〔广告气球〕	二	三九	くわうもくてん〔廣目天〕	一	三三	くわし〔菓子〕	一四	三三
くわうこくたう〔广告塔〕	七	三九	くわうの〔曠野〕	二	三三	くわじ〔菓子〕	一六	三三
くわうこくばん〔广告板〕	一	三九	くわうゆ〔鈇油〕	二	三三	くわじ〔菓子〕	一八	三三
くわうこくまつち〔广告マツチ〕	一	三九	くわうらく〔黄落〕	二	三三	くわじあつ〔菓子跡〕	一八	三三
くわうき〔黄砂〕	五	三九	くわうりやう〔黄柳〕	一	三三	くわじと〔菓子工〕	三	三三
くわうさい〔光彩〕	二	三九	くわうりやう〔荒涼〕	一四	三三	くわじたり〔化したり〕	一	三三
くわうさうび〔黄薔薇〕	二	三九	くわうりゆうじ〔広隆寺〕	一	三三	くわじつ〔過失〕	一	三三
くわうさうれい〔黄草薺〕	一	三九	くわうりゆうじみろくぼさつ〔広隆寺弥勒菩薩〕	一	三三	くわじつ〔画室〕	六	三三
くわうざん〔砒山〕	一	三九	くわうりん〔光琳〕	二	三三	くわじつ〔果实〕	七	三三
くわうざんしーらしき〔鈇山師らしき〕	二	三九	くわうりんかく〔光輪閣〕	二	三三	くわじつるみ〔果实類〕	一	三三
くわうざん〔皇軍〕	二	三九	くわうるりぐわ〔黄瑠璃瓦〕	一	三三	くわしぼこ〔菓子箱〕	一	三三
くわうじやうのつき〔荒城の月〕	一	三九	くわうろ〔鈇炉〕	一	三三	くわしばん〔菓子パン〕	一	三三
くわうじゆく〔黄熟〕	一	三九	くわうゐ〔皇位〕	一	三三	くわしぶくろ〔菓子袋〕	一	三三
くわうしよくあふひ〔黄蜀葵〕	二	三九	くわえうび〔火曜日〕	二	三三	くわじみ〔火事見〕	一	三三
くわうせき〔鈇石〕	三	三九	くわえん〔荒苑〕	一	三三	くわしや〔菓子屋〕	二	三三
くわうせん〔光線〕	三	三九	くわえん〔火災・火焰〕	一	三三	くわしや〔貨車〕	二〇	三三
くわうせん〔黄泉〕	一	三九	ぐわか〔画家〕	二	三三	くわしや〔華書〕	二	三三
くわうぜんじ〔光前寺〕	一	三九	くわかいだいし〔過海大師〕	一	三三	くわじやう〔和上〕	一	三三
くわうだいなる〔広大なる〕	一	三九	くわかう〔花梗〕	二	三三	ぐわじやう〔画商〕	一	三三
くわうたいし〔皇太子〕	二	三九	ぐわかう〔画稿〕	一	三三	くわじやうゆほん〔化城喻品〕	一	三三
くわうたいしでんか〔皇太子殿下〕	一	三九	ぐわかう〔画藁〕	二	三三	くわじやうまんかう〔火車慢行〕	二	三三
くわうたら〔荒唐〕	一	三九	くわがく〔科学〕	五	三三	くわじゆう〔果汁〕	三	三三
くわうたうむけい〔荒唐無稽〕	一	三九	くわがく〔化学・化學〕	一	三三	くわじゆゑん〔果樹園〕	四	三三
くわうたく〔光沢〕	三	三九	くわがくこうちよう〔化学工場〕	二	三三	くわじよう〔過剰〕	一	三三
くわうちん〔黄塵〕	四	三九	くわがくじ〔花岳寺〕	一	三三	くわしん〔花心〕	三	三三
くわうてん〔光点〕	一	三九	くわがくす〔科学す〕	一	三三	くわしん〔花信〕	一	三三
くわうど〔黄土〕	五	三九	くわがくてきへんくわ〔化学的变化〕	一	三三	くわじん〔算人〕	一	三三
くわうど〔光度〕	一	三九	くわがくやくひん〔化学藥品〕	一	三三	くわじん〔華人〕	一	三三
くわうどうくわ〔黄銅貨〕	二	三九	ぐわから〔画から〕	二	三三	くわじん〔花塵〕	一	三三
くわうどく〔鈇毒〕	四	三九	くわき〔花季〕	一	三三	くわす〔化す〕	一	三三
			くわき〔火氣〕	二	三三	くわすみ〔果穗〕	二	三三
						くわせい〔火星〕	七	三三